

---

# 霊夏

血沼壮士

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

霊夏

### 【Nコード】

N5648I

### 【作者名】

血沼壮士

### 【あらすじ】

似非コメデイで似非ホラー。夏休みの学校と古本屋で繰り広げられるハイテンションノベル。

## 手(1)

『明るい時に見えないものが、暗闇では見える』

夏で、田舎である。或いは田舎の夏である。より正確にはド田舎の夏である。

ご町内の総人口は一人にも満たず、三軒しか存在しないコンビニでは明らかにご当地限定且つご当地生産な謎の惣菜が販売され、ちよつと気のきいた市街地へのバスは良くて一時間に一本であり、時間帯によつては三時間も待たされ、電車なんぞ通つてすらいらない。そんなレベルの田舎だ。

雨を降らすことを忘れてしまったかのような空の下、そんなレベルの田舎町の田舎道を、アイスクわえて二人連れで歩いている。

足取りは重い。つーか、蒸し暑いのだ。ちよーあついのだ。

空を見上げると、冗談でもなんでもなく、雲一つない。アホな小学生在が描いたアホ絵日記のような、アホアホな晴れ方である。あとセミがうるさい。嫌がらせみたいにうるさい。

二人連れなのだし、田舎とはいえ人通りもあるのだから、そんなことは万に一つもないのだが、もしも熱射病で行き倒れたならこの暑さと湿気である。きつと見事な腐乱死体が出来上がるだろう。

そんな悪趣味極まることを考えていたせいだろうか、隣を歩いていたやつさんみなかたこと南方やすこ泰子が、訝しげに声を掛けてきた。

彼女がくわえていた棒アイスは、既に胃袋へと消えている。前歯で噛まれた平べったい棒が、上下に動く。

「変な顔して、どうしたの？」

キツツイ目付きの美形である。眉をひそめても美形で、アイスの棒をゴリゴリ噛み砕いていても美形。

それなりの長さがある髪の毛を後頭部で結わえた髪型は、どこからどう見てもポニーテールなのだが、彼女から受ける鋭い印象に補正され、チョンマゲにしか見えない。

そういえば去年の文化祭、クラスでやった演劇では義経役だった下級生女子が真つ黄色の悲鳴を上げていたのを思い出す　あの意味で男前の最終形態かもしれない。

……まあ、若干性格破綻気味なのが珠に疵だが。  
「いや。セミがうるさいと思ってただけだよ」

益体もない思考を止め、ギリギリ嘘の返答を返す。いきなり腐乱死体の話を振るのもどうかと配慮した結果だった。

「やっさんは興味無さそうに」あ、そ」と返しただけだった。  
そのまま、しばらく歩く。目的地が見えた辺りで、やっさんが口を開いた。

「セミの話だけど」

「……うん」

「食ったことある」

衝撃発言だった。

「誰が」

「私が」

ツッコミ待ちだろうか。それともガチなのだろうか。返答に迷いが皆無な辺りにガチのスマイルが漂うが、

「丸焼きにしたんだけど鳴くための筋肉が胸の部分に詰まってるから弾力があつてオスは結構美味しいけどメスは腹に生焼けのスポンジケーキみたいな」

「背中を割って食べるんだけどカブトムシの幼虫が小さくなったよ  
うな寄生虫っぽいヤツが割れた外骨格の隙間から」

「虫と言えば蜂の子が」

「成虫は普通に虫の味」

「足が口に刺さる」

「自転車に乗ってたら口のなかにカナブンが」

「そつえば動物の死骸に大量のハンミョウとカマドウマが」

「道端で乾いて死んでるアカテガニを踏むのはダメゼツタイ」

「無菌飼育された　　が」

その後、生理的にアレな話を五分間程聞かされながら、目的地に到着した。

腐乱死体とどっこいの悪趣味っぷりだった、とだけ言っておこう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5648i/>

---

霊夏

2010年10月11日03時44分発行